

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		図書館協会参画事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020203000614
		総合計画の施策名					単独/補助	単独	所属課	090601
		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進					主要事業		生涯学習課	
政策体系		政策名					市長マニフェスト			
		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進					未来PJ事業		グループ	
		手段名					合併建設計画事業		公民館G	
		O3 ③生涯学習・文化施設の活用					合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
		01	10	05	02	03	00	公民館管理事業(大)		
法令根拠							単年度繰返し(年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
総会・役員会・初任者研修会・中堅職員研修会・情報サービス研修会・児童サービス研修会・その他の研修会への参加	図書館協会事業に参加・図書館事業の推進 負担金の納入

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
図書館協会事業に参加・図書館事業の推進 負担金の納入	総会・研修会等への参加回数	回	4.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市町村図書館及び公民館館内に図書室を有する市町村	市町村数	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
図書館及び図書室担当職員の資質の向上	参加した桜川市職員数	人	6.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	12	12	12
	事業費計(A) 千円	12	12	12	
人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間 時間	36.00	36.00	36.00	
	人件費計(B) 千円	105	105	105	
トータルコスト(A)+(B) 千円		117	117	117	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
		合計	12		合計	12

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	図書館協会参画事業	事務事業No.	20203000614	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前はそれぞれの公民館で加入、平成27年度より桜川市の代表館として真壁図書館が協会に加盟、岩瀬・大和中央公民館は退会した

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	現状や課題を認識することにより、生涯学習・文化施設の充実につながる
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	県内の図書館及び公民館と情報交換することで、よりよい公民館事業が図れる
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	多様化する最新情報が得られる
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民への情報提供が遅れる。また、各市町村への連絡調整ができなくなる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	県の構成団体である
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費については県事務局で決定されているため削減できない 会議・研修会等に参加するため削減できない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	協会加盟団体を対象としているため公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果

①目的妥当性 適切 見直し余地あり
 ②有効性 適切 見直し余地あり
 ③効率性 適切 見直し余地あり
 ④公平性 適切 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

(3) 今後の事業の方向性

終了 継続 改革改善を行う 現状維持

(複数回答可)

目的の再設定 効率性の改善
 有効性の改善 公平性の改善
 統廃合ができる 連携ができる

(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	×
	維持 低下		×	×

(6) 事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果

コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価

課長確認後の評価

A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止
 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出

(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)

確認欄